



S/4HANAの選択データ移行

cbs社Enterprise Transformer®を搭載

SAP S/4HANAへの移行は、多数の大企業にとって大きなチャンスです。しかし、それはまた重大な課題になる可能性があります。

改善を成し遂げる上で障害が生じる可能性があるにもかかわらず、企業として既存のERPインフラへの長期投資を維持す

べきでしょうか？

あるいは、新しい環境を利用するため、これに伴うすべての混乱と潜在的な損失を受け入れ、すべてを置き換えるべきでしょうか？

明らかに、両方とも問題があります。

SAP S/4HANA®への移行 – スムーズ、セキュア、エンタープライズ全体

S/4HANAの選択データ移行: より優れたアプローチ

cbs社アジア太平洋地区にはS/4HANAの選択データ移行においてより優れたアプローチを提供します。これにより、企業は移行のメリットを享受し、同時にデメリットを最小限に抑えることができます。

これは、実際の実用性に根ざしたアプローチです。企業は適切なカスタムソリューションを再利用できます。つまり、ニーズに合わせた適切なデータのみを選択して移行でき、また選択プロセスを最適化できます。

プロジェクトの期間は短くなります。実績のある方法、品質管理を備えた自動化ツール、繰り返し可能なルール、監視、複雑なオンザフライデータ変換を使用して、実行を迅速化します。

さらに、プロセス全体を通じて、S/4HANAの選択データ移行はリスクと混乱を軽減すると同時に、早期の具体的なビジネス上のメリットを提供します。

スムーズかつ安全、また個々の組織のニーズに対応します。

チャレンジ

グリーンフィールドアプローチでは、新たなSAP S/4HANAシステムで、すべてのビジネスプロセスをゼロから完全に再設計する必要があります。

これには高い労力とコストを伴います。すべての履歴データを新たなERP環境に簡単に転送できないため、別のアーカイブシステムからアクセスする必要があります。

また、全く新たなシステムを構築するには、すべてのビジネスプロセスの再設計が必要になる可能性があるため、ビジネスが長期にわたって中断するリスクも高くなります。



The logo is circular with a black border. Inside the circle, the text "SAP S/4HANA Selective Data Transition" is written along the top arc, and "Engagement" is written along the bottom arc. The center of the logo features a stylized graphic of four human figures in green, standing on a horizontal line. Below the figures is a bar chart with three bars of increasing height, and a white arrow pointing to the right.

cbs社は、SAP社のSAP S/4HANA® Selective Data Transition Engagementコミュニティの創設メンバーです。

cbs社はSAP社と協力して共同の標準、方法、およびプロセスを確立し、SAP S/4HANAへの信頼性が高く実績のある移行アプローチをお客様に提供します。

ブラウンフィールドアプローチは、SAP S/4HANAで機能するかどうかに関係なく、すべてのカスタム開発をレガシーERP環境で維持したいという意味になります。このやり方では新しいシステムに互換性のない古いカスタムコード、組織構造、データ等が乱雑する可能性があります。

変換の前後にクリーンアップ作業がなければ、SAP S/4HANAで得られる多くのメリットをすぐに利用することはできません。

変換後のレガシーの問題および実現されていないメリットは、堅実なビジネスケースにはなりえないのです。

ソリューション

S/4HANAの選択データ移行では、プロセスの最適化とランドスケープを合わせることを同時に達成しながら、必要な履歴データを維持する柔軟性を提供する唯一のアプローチです。このアプローチで、S/4HANAの最適化されたビジネスプロセスを採用し、組織に最大の価値と競争力を高める事業領域の再設計に集中することができます。

S/4HANAの選択データ移行は、cbs社のEnterpriseTransformer®ソリューションを駆使し、既存のプロセスとシステムのランドスケープをSAP S/4HANA®のソリューションとデータ構造に全体的かつ柔軟に転送できます。

- ・ ビジネスのダウンタイムなしでターゲット構造に高速変換
- ・ 要件分析から品質保証まで、あらゆるトランスフォーメーションタスクに対応する唯一のエンドツーエンドソリューション
- ・ Ernst&Youngによる監査
- ・ 事前定義されたシナリオではなく、顧客固有のソリューションを提供
- ・ すべての設定に対する完全な監査証跡 (SAP移送管理と完全に統合)
- ・ すべてのトランスフォーメーション活動に対する完全な監査証跡- cbs社ETに搭載
- ・ 認定された経験豊富なcbs社スペシャリストが実施

選択データ移行アプローチによる限りない可能性

スタンドアロンのグリーンフィールド実装または既存のシステムのブラウンフィールド変換には制限があります。cbs社の選択データ移行アプローチを使用し、Enterprise Transformerソリューションを利用することで、グリーンフィールドとブラウンフィールドの両方の実装上の制約を強化する柔軟性が生まれます。

新規導入

- ・ 必要不可欠なプロセスが変更されたら企業によるリスクが高い
- ・ 履歴データを含めるため作業量を増やす
- ・ 高度なプロセスイノベーション
- ・ 高コストオプション
- ・ 優れた変更管理

選択データ移行アプローチに従って:

- ・ 履歴/トランザクションデータを選択的に移行する
- ・ データとプロセスを新たなシステムに統合し、併合させる

S/4HANAの選択データ移行

- ・ ソフトウェア主導のデータ移行
- ・ 最速かつ柔軟的
- ・ コンプライアンス — 監査人によるレビューと認定
- ・ プロジェクトのリスクを減らす
- ・ 事業の混乱を最小限に抑える
- ・ ほぼゼロのダウンタイム
- ・ フルSLO / ランドスケープトランスフォーメーション対応



システム変換

- ・ ビジネスリスクが低い
- ・ すべてのデータ履歴、既存ECCシステムのデータクレンジングなし
- ・ 実際の移行中のプロセスイノベーションが最も低い
- ・ ビッグバンが唯一のアプローチ

選択データ移行アプローチに従って:

- ・ 財務データのハーモナイゼーション
- ・ 新総勘定元帳の導入
- ・ 収益性分析、勘定科目表、利益センタの再構築

メリット

デジタルトランスフォーメーションに向けて早期転換することで、現在の課題を持つ組織はより柔軟性が増し、市場の変化にも容易に対応できるようになります。

S/4HANAの選択データ移行は、グローバル規模のプロジェクトであっても、制限なしにスムーズで移行を確実にするため、組織にとって効率的で測定可能な価値を持つ実用的なアプローチです。cbs社はダウンタイムがほぼゼロで、手間のかからない移行を実現させます。

cbs社アジア太平洋地区が提供するS/4HANAの選択データ移行のメリットは:



より速く

プロジェクトのタイムラインを 50% 以上削減



より安全に

ET Enterprise Transformerは監査に耐える成熟した移行ソフトウェア



より安く

グリーンフィールドアプローチと比較した場合、最大80%の削減が可能



カスタマイズ可能

グリーンフィールド/ブラウンフィールドスペクトル上のどこにいても、お客様の要件に合わせて調整可能



推奨

大規模で複雑なERP環境にSAPが推奨



ほぼゼロのダウンタイム

通常のカットオーバーアクティビティなしで24時間未満に最適化されたダウンタイム



世界最大規模のSAP S/4HANA変革がViessmann社で完成

190の会社コード、300億のデータレコード、及び6,000人以上のユーザーが関与する画期的なS/4HANA選択的移行

「5年以上の長期にわたるビジネスプロジェクトを実施する余裕はありませんでした。Viessmann(ヴィエスマン)社のようなグローバルプレーヤーにとって、S/4トランスフォーメーションは、戦略的に重要かつビジネスクリティカルな将来のプロジェクトです。同時に、それはViessmannの会社の歴史の中で最大のITプロジェクトでした。したがって、この規模のプロジェクトを最短の時間枠とわずかなコストで実際に完了することができるのは、飛躍的な進歩のようなものです。」

- ハラルド・デルンバッハ博士、Viessmann社ITサービスのマネージング・ディレクター

cbs Corporate Business Solutions Japan
〒108-6028 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟28階
電話: +81 (0)3 6717 2767
www.cbs-consulting.com/apac

cbs社はcbs Corporate Business Solutions Unternehmensberatung GmbHの子会社です。このドキュメントは、一般的なガイドンスのみを目的としています。当社の製品・サービスは継続的に開発中であるため、お客様は、ここに記載されている情報に最新の詳細が含まれていることを確認することが重要です。この文書の作成にはあらゆる予防措置が講じられていますが、当社および発行会社は、誤りや不作為に対して一切の責任を負いません。当社および発行会社は、ここに含まれる情報の使用により生じた損失または損害に対して一切の責任を負いません。この文書は、明示的に合意される限り、契約またはライセンスの保存の一部ではありません。